



■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 ■バージョン: CASBEE横浜2017年版v.1.1

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)下末吉開発計画	階数	地上3F
建設地	横浜市鶴見区下末吉5丁目364番の一部 他	構造	S造
用途地域	第2種中高層住居専用、準防火地域	平均居住人員	120 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	
竣工年	2018年1月 予定	評価の実施日	2017年5月24日
敷地面積	2,258 m ²	作成者	松本拓也
建築面積	1,208 m ²	確認日	2017年5月25日
延床面積	3,074 m ²	確認者	定森淳一



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.8 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (184 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 83% (138 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の 83%

④上記+ 83%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.6

Q1 室内環境 (Q1のスコア= 2.9)

音環境	2.6
温熱環境	2.6
光・視環境	3.1
空気質環境	3.3

Q2 サービス性能 (Q2のスコア= 2.8)

機能性	2.5
耐用性・信頼性	3.2
対応性・更新性	2.6

Q3 室外環境 (敷地内) (Q3のスコア= 2.0)

生物環境	1.0
まちなみ・景観	2.0
地域性・アメニティ	3.0

LR のスコア = 3.0

LR1 エネルギー (LR1のスコア= 3.4)

建物外皮の熱負荷	5.0
自然エネルギー	3.0
設備システム効率化	3.0
効率的運用	3.0

LR2 資源・マテリアル (LR2のスコア= 2.5)

水資源保護	2.2
非再生材料の使用削減	2.4
汚染物質回避	3.3

LR3 敷地外環境 (LR3のスコア= 3.2)

地球温暖化への配慮	3.6
地域環境への配慮	2.9
周辺環境への配慮	3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	<ul style="list-style-type: none"> 高効率空調機器、LED照明の採用等、建物の省エネルギー性能を高め、地球温暖化防止に配慮している。 	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
<ul style="list-style-type: none"> 高い昼光率を確保している。 自然換気性能への配慮を行う。 条例により全館禁煙とする。 	<ul style="list-style-type: none"> 快適な居室の広さ、天井高さを確保している。 耐用年数の長い、部品部材を確保している。 壁長さ比率を確保し、空間のゆとりを確保している。 	<ul style="list-style-type: none"> 緑地、中庭の設置。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
<ul style="list-style-type: none"> 高効率空調機器の採用等、建物の熱負荷抑制に配慮している。 LED照明の採用等、設備システムの高効率化に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 防水工事のプライマー採用等、化学物質の採用削減に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 建物の省エネルギー性能を高め、地球温暖化防止に配慮している。 「光害対策ガイドライン」のチェックリストの一部を満たし、広告物照明における配慮事項の過半を満たす等、光害の抑制に努めている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



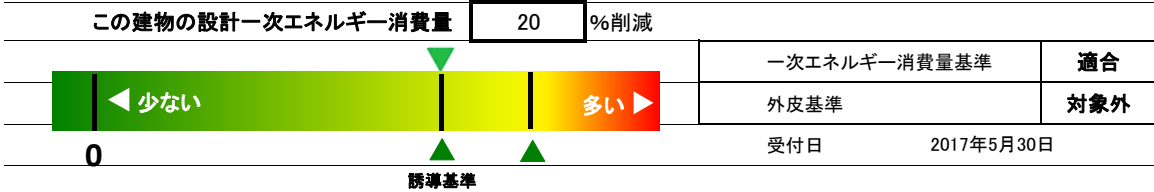
4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <非住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。

建物名称 (仮称) 下末吉開発計画

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 **3**

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

①高効率空調機器の採用等、建物の熱負荷抑制に配慮

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【快適・働きやすさ】 **3**

■室内環境対策 (⑨温熱環境対策 ⑩光環境 ⑪空気質環境)

⑩昼光率が、エントランスホール兼機能訓練コーナー5.80%、相談室2.28%、居室1-1.40%

⑪自然換気有効開口面積が居室床面積の1/10以上、神奈川県条例により全館禁煙

■機能性対策 (⑫機能性 ⑬知的生産性向上の取組)

■室外環境(敷地内)対策 (⑭敷地内温熱環境の向上)

防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防 災】 **3**

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

⑯45二丁掛タイル、ポータータイル40年

⑰給排水管は上位3種がB以上、Eは不使用

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 **2**

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

太陽光発電などの導入	環境配慮技術の導入 (太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)
エネルギーマネジメントシステム導入	